令和7年度第2回 東松山市総合計画審議会 会議録

開催日時	令和7年7月25日(金)		開会	14時00分		
			閉会	15時30分		
開催場所	東松山市役所 全員協議会室					
会議次第	1 開会 2 発令通知書の交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長の選出 6 議題 (1) 基本構想(案)について (2) 施策体系(案)について (3) 人口ビジョン改訂版について (4) その他について 7 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		2人	
審議会委員	委員	飯島 徹	出	委員	長島 洋介	出
	委員	今村 美代子	出	委員	中田 幸昌	欠
	委員	押尾 晴樹	欠	委員	細田 咲江	欠
	委員	小野寺 亘	出	委員	杉山 武志	欠
	委員	木村 翔一	出	委員	佐藤 幸俊	出
	委員	小峰 良介	出	委員	関根 美沙	欠
	委員	須田 知樹	出	委員	松木 秀一	出
	委員	関口 喜希	出			
事務局	政策財政部長 桶谷 易司		政策財政部次長 関根 隆			
	政策推進課長 今井 秀典		政策推進課活性化戦略室主査 元田 貴志			
	政策推進課主査 江原 友博		政策推進課主任 長嶋 宥佑			
	政策推進課主事 嶋岡 佑香					

次 第	顛 末
1 開会	(事務局開会宣言)
2 発令通知書の 交付	山口副市長より委員を代表し、飯島委員へ発令通知書の交付。
3 あいさつ	(山口副市長あいさつ)
4 自己紹介	審議会委員、事務局より自己紹介
5 会長・副会長の 選出	東松山市総合計画審議会条例第5条の規定に基づき、委員の互選を募るも、互選に関する発言はなく、事務局案(会長に小野寺委員、副会長に小峰委員)を提示したところ、各委員より「異議なし」との発言があったため、会長、副会長の選出は事務局案のとおりとなった。
6 議題 (1) 基本構想 (案)について	<p>《基本構想(案)について事務局から説明》</p> <p>【資料1】第六次東松山市総合計画(素案)</p> <p>【質疑応答・意見】</p>
長島委員	市民意識調査の結果について、追加で年齢別や年代別などのデータがあれば、どの分野にどの年齢層の方の意見が多いのかという分析が出来ると思います。
事務局	市民意識調査の結果についての詳細は「市民意識調査報告書」に記載されております。総合計画内でもわかりやすく表現できるよう検討いたします。
松木委員	東松山市を取り巻く社会情勢のページでは(4)グローバリズム・世界情勢の変化の説明文中に、「世界情勢の中で流動化する社会に対し、対応する力を身につけていくことが地方自治体にも求められる時代となっています」との記載がありますが、具体的にはどのような対策を考えられているのでしょうか。
事務局	流動的な世界情勢の中で、地方自治体も対応していかなければな

	らないという意味で記載をしております。
小峰副会長	東松山市を取り巻く社会情勢のページの（５）食料安全保障の確保については、産業の分野の柱に繋がると認識しております。説明文では地場産品、地域産業の表現がありますが、産業分野との繋がりが薄いのではないかと感じました。
事務局	ご指摘の繋がりについて、より明確になるよう記載内容を検討いたします。
飯島委員	東松山市を取り巻く社会情勢のページの（３）デジタル社会の進展の説明文には東松山市に関する記載が無いため、（５）食料安全保障の確保のように、東松山市としてどのように取り組んでいくのかを記載してはいかがでしょうか。
事務局	市の取組に関する記載の有無については統一を図り、より身近に感じてもらえるような表現になるよう検討いたします。
佐藤委員	「社会情勢」の記載は、第五次総合計画にも記載をしていたのでしょうか。
事務局	第五次総合計画（前期計画）内には、「社会情勢」に近い表現で「東松山市の課題」として記載し、人口減少や高齢化、災害に強い地域づくりなどの内容を記載しております。
(2) 施策体系(案)について	<p>《(2) 施策体系(案)について を事務局から説明》</p> <p>【資料2】 施策体系表(素案)</p> <p>【質疑応答・意見】</p>
関口委員	1-1-③「こどもの安全確保」については、第五次計画では「児童虐待・DVなどへの対応」としていましたが、第六次計画の案で「こどもの安全確保」という表現に変更した理由を教えてください。
事務局	児童虐待やDVについては複数の施策に包含されているため、一つの施策として掲げていません。施策のタイトルとしては無くなりましたが、施策の内容を記述する際に明確にしていまいます。
関口委員	児童虐待やDVは命に関わることなので、「安全の確保」という表

	<p>現では受け手に問題の重みが伝わらない恐れがあります。</p>
事務局	<p>「児童虐待やDV」という表現も用いながら、趣旨が伝わるような記載内容となるよう検討いたします。</p>
関口委員	<p>施策のタイトルに「児童虐待やDV」など、少し強めの言葉を使用してもよいと考えます。また、虐待がある家庭に対してどのようにアプローチをしていくかが本質ではないかと考えます。</p>
事務局	<p>素案の段階であるため、いただいたご意見を参考に記載内容を検討いたします。</p>
木村委員	<p>第六次計画で施策の表現などを変更している理由について、わかりやすく示していただきたい。</p>
事務局	<p>次回審議会で示せるよう準備いたします。</p>
須田委員	<p>人口減少や高齢化が進む中で、高齢者に対する福祉施策も大切ではあると思いますが、高齢者がさらに活躍できる施策を積極的に打ち出してもよいと思います。</p>
事務局	<p>検討いたします。現段階の施策では、行政側から高齢者に対して行動を促す表現が多いため、高齢者が自ら行動し、活躍できるという趣旨の表現も記載していきたいと思います。</p>
	<p>《（３）人口ビジョン改訂版について を事務局から説明》</p> <p>【資料３】東松山市人口ビジョン（案）</p> <p>【質疑応答・意見】</p>
小野寺会長	<p>人口ビジョンについては単独で冊子が作成され、総合計画に包含されるものではないという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりです。</p>
松木委員	<p>他自治体と比較して当市の外国人人口は多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>当市の外国人人口は、埼玉県内では１８番目に多い状況です。川口市、さいたま市、川越市が県内の上位となっていますが、埼玉県</p>

<p>今村委員</p>	<p>への流入外国人数も全国的にみると上位になっているようです。</p> <p>外国人のごみの出し方については全国的に問題となっていますが、当市はミャンマーやインドネシアの方の流入が増えており、それらの方々の言語に対応したごみのカレンダーがありません。そのため、ごみの出し方について理解が出来ない外国人は、近隣住民から苦情を受けてしまうことがあるようなので、そのようなことを防ぐための取組についても検討してもらいたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>ごみ出しのルールなど、外国の方がよく理解されていないものについては、A I の活用などで解決できる可能性もあります。地域の方々が実際に困っている問題であると思うので、どのような対策ができるか検討してまいります。</p>
<p>今村委員</p>	<p>当市のホームページでも、外国語表記に対応できている部分はありますが、バナーやPDFについては日本語表記にしか対応できていません。このような箇所も外国語表記に対応できるようにならないでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>検討いたします。</p>
<p>須田委員</p>	<p>人口が減少することで税収の減少などマイナス面もありますが、市民一人あたりの公園面積の増加や公共施設の混雑緩和など、人口減少にはプラスの面もあると思います。プラスの面を伸ばしつつ、マイナスの面をどのように補っていくのかを考察することも人口減少との向き合い方の一つであると考えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>今までは、「人口減少はマイナスである」という既成概念があったため、人口減少のプラスの面も把握した上で、人口減少についての考え方を計画に反映させたいと思います。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>人口減少が続く場合、市町村合併なども見据える必要があるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現時点で当市は合併を考えておりませんが、今後、近隣自治体において合併についての話題が上がった際には、当市としてどのような対応が出来るかということを現段階から考えておく必要があると思います。</p>

<p>(4) その他について</p> <p>4 閉会</p>	<p>(4) その他について 事務局より、参考資料4及び参考資料5については配付のみとするが、計画案の審議にあたり参考としていただきたい旨を説明。</p> <p>(桶谷政策財政部長より御礼のあいさつ)</p> <p>(事務局閉会宣言)</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和7年8月12日</p> <p>署名委員 飯島 徹</p> <p>署名委員 須田 知樹</p>	